

〇〇××邸 様

精密耐震診断

耐震診断Ⅱ

200X年某月某日

堀正建設（株）

新潟県新潟市南出来島1-16-3

TEL 025-284-2288

FAX 025-285-2260

- ・耐震診断Ⅰとは壁長のみで耐震の判定を行っています。
- ・耐震診断Ⅱとは壁倍率までを考慮して耐震の判定を行っています。
- ・この耐震判定は現行の建築基準法上の耐震性能を満たしているかどうかの目安を示すものであり、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
- ・総合評点が1.0以上の場合でも部分的な欠陥がある場合には、その程度に応じた対策を講じる必要があります。

●精密耐震診断表 詳細内容●

【建物概要】

200X年 某月 某日

物件コード : 0 物件名 : ○○××邸 邸様 建築地 : 備考 : 階数 : 2階建て 1階床面積 : 119.46㎡ 屋根 : 重い 地盤 : やや弱い	2階床面積 : 95.85㎡ 屋根形状 : 切妻タイプ 風力 : 普通
--	---

A. 【地盤の種類判定基準】

良い・普通の地盤	洪積台地または同等以上の地盤（下記以外のもの）
やや悪い地盤	30mよりも浅い沖積層、埋立地および盛土地で大規模な造成工事（転圧・地盤改良）によるもの
非常に悪い地盤	30mよりも深い沖積層（軟弱層）、海・川・池・沼・水田等の埋立地及び丘陵地の盛土地で小規模な造成工事によるもの、液状化の可能性があるところ

A	0.800
---	-------

B×C. 【建物の形・壁の配置】

(◎優 ○良 △普通 ×注意)

階	方向	偏心率	壁心率	耐力壁直下率	隅角部両端壁無ヶ所数	隅角部片端壁無ヶ所数
1	X	0.20 ×	0.02 ◎		4 ×	7 ×
	Y	0.04 ◎	0.05 ○			
2	X	0.06 ○	0.03 ◎	0.19 ×	2 △	3 △
	Y	0.11 △	0.04 ◎	0.14 ×		

※建物の重さの中心を重心と言い、壁の強さの中心を剛心、壁の位置の中心を壁心と言います。
 偏心率は重心と剛心のズレ、壁心率は重心と壁心のズレを数値で表したもので、ズレが少ないほど値が小さくなります。
 ※耐力壁直下率とは、上階の耐力壁の下に下階の耐力壁がある割合を示した数値です。
 ※隅角部両端・片端壁無ヶ所数とは、建物の各角のうち両側または片側に壁の無い部分のヶ所数です。

[判定基準]

判定	偏心率・壁心率	耐力壁直下率	隅角部両端壁無ヶ所数	隅角部片端壁無ヶ所数
◎優	0.05 以下	0.50 以上	0.00	0.00
○良	0.05 超 0.10 以下	0.40 以上 0.50 未満	1.00	2.00
△普通	0.10 超 0.15 以下	0.30 以上 0.40 未満	2.00	3.00
×注意	0.15 超	0.30 未満	2.00 超	3.00 超

[評点への変換]

偏心率	変換
0.15未満	1.0固定
0.15以上 0.45未満	1/ (3.33×偏心率 + 0.50) で計算
0.45以上	0.50固定

各方向で算出

X方向	0.861
Y方向	1.000

精密耐震診断表 (II)

A	地盤・基礎	基礎	地盤	良い地盤	やや悪い	非常に悪い	0.800
		鉄筋コンクリート		1.0	0.8	0.7	
		無筋コンクリート		1.0	0.7	0.5	
		ひび割れのあるコンクリート造布基礎		0.7	0.5	0.3	
		その他の基礎 (玉石・石積・ブロック)		0.6	0.3	0.1	
B・C	建物の形・壁の配置	<div style="margin-top: 10px;"> $Re \cdot x = 0.199 \rightarrow B \cdot C = 0.861$ $Re \cdot y = 0.038 \rightarrow B \cdot C = 1.000$ </div>					0.861
D・E	筋かい・壁の割合	精密耐震診断 I	精密耐震診断 II				1.673
		<div style="margin-top: 10px;"> $x(LT/Lr) = \rightarrow D \cdot E_x =$ $y(LT/Lr) = \rightarrow D \cdot E_y =$ </div>	$D \cdot E = \{ (\sum \alpha \cdot L_b + \sum L_t \cdot \beta) / L_r + 0.25 \} / 1.5$ α : 耐力壁の倍率 β : 無開口壁の等価的な倍率 L_b : 個々の耐力壁の実長 (m) L_t : 個々の無開口壁の実長 (m) L_r : 所要有効壁長 (m)				
F	老朽度	健全	1.0				1.000
		老朽化している	0.9				
		腐ったり、白蟻に食われている	0.8				
結果	総合評点		判定		A×B×C×D×E×F		
	1.5以上		安全です				
	1.0以上 ~ 1.5未満		一応安全です		1.152		
	0.7以上 ~ 1.0未満		やや危険です				
	0.7未満		大倒壊、大破壊の危険があります				
コメント	総合評価が1.0以上であれば一応安全といえます。 ですが、場合によっては部分的な改修が必要な事もあります。						